



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社バルクホールディングス 上場取引所 名
 コード番号 2467 URL http://www.vlcholdings.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大竹 雅治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 五十嵐 雅人 TEL 03-5649-2500
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	239	△50.4	10	67.0	10	87.1	9	133.3
29年3月期第1四半期	482	△24.6	6	△36.8	5	△53.7	4	△43.1

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 9百万円 (145.5%) 29年3月期第1四半期 4百万円 (△57.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	1.33	—
29年3月期第1四半期	0.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	896	722	76.8	91.86
29年3月期	910	712	74.5	90.53

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 688百万円 29年3月期 678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	534	△46.2	23	10.9	24	22.7	20	72.8	2.67
通期	1,087	△36.5	34	35.8	38	64.0	29	331.3	3.87

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	7,494,000株	29年3月期	7,494,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	－株	29年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	7,494,000株	29年3月期1Q	7,494,000株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(四半期連結損益計算書)	P. 6
(四半期包括利益計算書)	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日～平成29年6月30日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善及び設備投資の増加傾向が続き、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、「価値創造」の企業理念のもと、積極的に事業拡大と企業価値最大化を目指し、営業活動の強化、競合他社に先駆けた新サービスの提供、ストック型ビジネスの拡大、外部企業とのアライアンスの強化、グループ間連携の深化等に取り組みました。

なお、当社グループは、前連結会計年度において、経営資源の選択と集中にかかる検討を慎重に重ねた結果、「コンサルティング事業」「マーケティング事業」及び「IT事業」並びにこれらの関連・周辺市場に対して経営資源を集中的に投下する方針を決定いたしました。この方針に基づき、当社は単独で「住宅関連事業」を営んでいた連結子会社の全株式を売却し、前第4四半期期首時点で同社を連結の範囲から除外したことから、当第1四半期連結累計期間より「住宅関連事業」セグメントを廃止しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は239,214千円(前年同四半期比50.4%減)、営業利益は10,225千円(前年同四半期比67.0%増)、経常利益は10,936千円(前年同四半期比87.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9,954千円(前年同四半期比133.3%増)となりました。

セグメント別の業績(セグメント間の内部取引消去前)につきましては、次のとおりであります。

(コンサルティング事業)

情報セキュリティ規格(プライバシーマーク、ISO27001等)のコンサルティング売上については、高付加価値サービスの提供、サービスラインの拡充等により、既存案件、新規案件ともに堅調に推移いたしました。また、既存の事業基盤を活用したセキュリティ関連の新サービスについても売上が拡大いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は55,782千円(前年同四半期比10.2%増)となりました。

(マーケティング事業)

マーケティングリサーチサービスについては、顧客ニーズ・調査手法の多様化やビッグデータ・人工知能(AI)・IoT等の技術革新を受けて、サービスの付加価値向上・差別化や技術革新への対応がより重要となってきております。このような状況のなか、新規顧客の開拓と既存顧客からのリピート案件の確保に注力するとともに、収益性や成長性の確保に向け、協業先の開拓及び事業基盤の拡充を進めました。

セールスプロモーション・広告代理サービスについては、引き続き、長期的なリレーション構築を前提とした営業戦略による既存顧客との良好な関係を背景に、主に健康をテーマとした企画の提案力、蓄積したノウハウの活用及び顧客ニーズへのきめ細かい対応によりサービスの付加価値を高め、大手スーパーマーケットや大手食品メーカーからの受注拡大に注力いたしましたが、一部既存顧客における広告予算削減の影響を受けました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は158,180千円(前年同四半期比19.5%減)となりました。

(IT事業)

企業収益の改善をベースとしてユーザーのIT投資需要は回復傾向が継続しております。その一方で、慢性的なエンジニア不足により、必要な要員の確保が困難な状況も継続しております。このような状況のなか、引き続き当社グループの中長期的な成長を確保するため、競争力・収益力の強化を目的としたグループ内のシステム開発や新サービス等にかかる開発支援向けに戦略的に人的リソースを投入いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は27,748千円(前年同四半期比8.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて11,425千円減少し、794,931千円となりました。これは、現金及び預金が97,796千円増加した一方で、営業外受取手形が112,490千円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3,052千円減少し、101,451千円となりました。これは、のれんが1,186千円、その他に含まれるソフトウェアが1,135千円減少したことなどによります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて24,329千円減少し、130,947千円となりました。これは、支払手形及び買掛金が5,507千円、その他に含まれる未払金が18,727千円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末並みの42,651千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて9,892千円増加し、722,783千円となりました。これは、主として利益剰余金が9,954千円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期における通期の連結業績予想につきましては、現時点において平成29年5月12日に公表いたしました内容に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	570,466	668,262
受取手形及び売掛金	114,632	112,416
商品及び製品	68	68
仕掛品	1,624	6,081
原材料及び貯蔵品	271	424
営業外受取手形	112,490	—
その他	8,435	9,317
貸倒引当金	△1,633	△1,639
流動資産合計	806,357	794,931
固定資産		
有形固定資産	9,523	8,716
無形固定資産		
のれん	52,207	51,021
その他	11,761	10,625
無形固定資産合計	63,969	61,647
投資その他の資産		
敷金及び保証金	19,206	19,148
保険積立金	10,248	10,248
その他	7,226	7,361
貸倒引当金	△5,670	△5,670
投資その他の資産合計	31,011	31,088
固定資産合計	104,503	101,451
資産合計	910,860	896,382
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,743	50,235
未払費用	13,416	13,963
未払法人税等	3,116	235
賞与引当金	2,950	5,033
ポイント引当金	17,504	12,743
その他	62,545	48,737
流動負債合計	155,277	130,947
固定負債		
退職給付に係る負債	25,643	25,879
役員退職慰労引当金	15,750	15,750
その他	1,299	1,022
固定負債合計	42,692	42,651
負債合計	197,970	173,599

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	511,374	511,374
利益剰余金	67,063	77,017
株主資本合計	678,437	688,391
非支配株主持分	34,453	34,391
純資産合計	712,890	722,783
負債純資産合計	910,860	896,382

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	482,084	239,214
売上原価	349,903	138,729
売上総利益	132,180	100,485
販売費及び一般管理費	126,058	90,260
営業利益	6,121	10,225
営業外収益		
受取利息	156	146
貸倒引当金戻入額	368	-
持分法による投資利益	600	600
その他	260	48
営業外収益合計	1,385	794
営業外費用		
支払利息	1,413	14
リース解約損	-	69
その他	248	-
営業外費用合計	1,662	83
経常利益	5,845	10,936
税金等調整前四半期純利益	5,845	10,936
法人税、住民税及び事業税	1,745	235
法人税等調整額	69	809
法人税等合計	1,815	1,044
四半期純利益	4,030	9,892
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△236	△61
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,266	9,954

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	4,030	9,892
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	4,030	9,892
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,266	9,954
非支配株主に係る四半期包括利益	△236	△61

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コンサルティング事業	マーケティング事業	IT事業	住宅関連事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	50,607	196,578	24,727	210,081	481,994
セグメント間の内部売上高又は振替高	30	—	5,470	—	5,500
計	50,637	196,578	30,198	210,081	487,495
セグメント利益又は損失(△)	17,153	19,797	2,917	△5,128	34,740

(注) 報告セグメントごとの外部顧客への売上高の合計額と四半期連結損益計算書の計上額との差額は、本社部門所管のその他の収益を獲得する事業活動によるものであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	34,740
セグメント間取引消去	△1,568
全社費用(注)	△27,140
その他の調整額	90
四半期連結損益計算書の営業利益	6,121

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コンサルティング事業	マーケティング事業	IT事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	55,652	158,180	25,292	239,124
セグメント間の内部売上高又は振替高	130	—	2,455	2,585
計	55,782	158,180	27,748	241,710
セグメント利益	18,940	16,591	1,199	36,731

(注) 報告セグメントごとの外部顧客への売上高の合計額と四半期連結損益計算書の計上額との差額は、本社部門所管のその他の収益を獲得する事業活動によるものであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	36,731
セグメント間取引消去	380
全社費用(注)	△26,977
その他の調整額	90
四半期連結損益計算書の営業利益	10,225

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

「住宅関連事業」につきましては、同事業を単独で営んでいた株式会社ハウスバンクインターナショナルの全株式を売却し、前第4四半期期首をみなし売却日として同社を連結の範囲から除外したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントを廃止しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。